

第 3 回三宅町地域福祉計画策定委員会 会議録

日 時	令和 7 年 2 月 2 日（日）14 時～15 時 25 分
場 所	三宅町交流まちづくりセンターMi i MO 1 階ホール
出席者	【策定委員】12 名 松井委員（委員長）、寺田（良）委員（副委員長）、足利委員、植村委員、田上委員、寺田（豊）委員、岩本委員、池田委員、川鰭委員、今西委員（敬称略・順不同） 欠席：藤本委員、西口委員、森内委員、所委員、爲本委員、小西委員、森田委員、廣田委員、 【アドバイザー】 川中大輔龍谷大学社会学部准教授 【事務局関係職員】7 名 住民福祉部 住民福祉課 宮内、古川、石田、前山 三宅町社会福祉協議会 下谷 株式会社ぎょうせい 今中、安井（愛）
配布資料	第 2 期三宅町地域福祉計画・三宅町地域福祉活動計画〔案〕
会議次第	議 事 （1）パブリックコメントの実施結果について （2）第 2 期三宅町地域福祉計画・三宅町地域福祉活動計画〔案〕について （3）これまでの振り返り

会 議 概 要	
議 事	
（1）パブリックコメントの実施結果について	
事務局 松井委員長	◆パブリックコメントについて説明。 ご質問等がありましたら、次の議題後にまとめてご意見をお願いします。
（2）第 2 期三宅町地域福祉計画・三宅町地域福祉活動計画〔案〕について	
事務局 松井委員長 川鰭委員	◆事務局より、資料を用いて説明。 委員の皆さまから、ご意見、ご質問等はございますか。 資料 44 ページの「町社協の主な取り組み」の「取り組み」枠内にある「福祉機器や福祉車両の貸出」についてですが、前回の会議の中で、一般的な福祉車両の定義としては「車椅子が乗れる車両」で現在、町社協ではそのような車両を所有していないとおっしゃっておられたので、「福祉機器の貸出」だけになると理解していましたが、「取り組み」枠内にある「福祉車両貸出」とは「福祉活動に使うために町社協が所有する車を貸し出ししますよ」という意味合いでしょうか。

事務局 足利委員	◆その通りです。 資料 16 ページの一行目に「全員参加支援」という文言があり、すごくいい言葉だと思いました。これは「支え、支えられる」がテーマだと思うのですが、66 ページ以降の用語説明で「全員参加支援」もしくは「参加支援」についての説明を入れるのはどうでしょうか。また、25 ページ「障害者との交流」の表現が一方的な意味合いと捉えられるかもしれません。
事務局	◆用語説明に追記するとともに、表現については再考します。
(3) これまでの振り返り	
松井委員長	議事(3) これまでの振り返りとして、ワークショップ形式で検討を行います。川中先生よろしくお願いします。
川中先生	川中先生より説明。①当委員会運営として良かった点と改善点、②委員会に参加した私にとって気付いたことや学びになったこと、これから試したいことという2点について、2～3人のグループに分かれて意見の交換、共有を行ってください。
岩本委員	立場が異なる方と話せて良かったです。事前に資料配布があったのも良かったです。計画内容の改善点については、もう少し検討時間がほしいと思いました。資料配付時にどのような事をするか周知があれば事前に考えることも出来たと思います。しかし、特別な資格がなくてもこの委員に入り、色々な繋がりが持てて良かったと思います。今後も参加していきたいです。
寺田(豊)委員	異なる年代の様々な人が「ここに行ったら集まれる」という居場所作りを今後もしていきたいと思います。
田上委員	この委員会内で考えて進めるのではなく、アンケートをとったりする等、町民の意見が取り入れられることは良いと思いました。
植村委員	意見を集める期間をもっと長く、そしてもっと回数も多くてもいいのではないかと思います。役場だけで進める時代ではないので、もっと住民の意見を取り入れていきたいと考えています。
足利委員	グループワークやみやぼうプロジェクトもあり、町民の方の話が聞けて、とても良かったと思います。グループワークという形式がとても良く、雑談から生まれるものがあることに気付きました。
寺田(良)委員	各分野、年代の様々な方が出席され勉強になったと思い、とても良かったです。焦点の絞り方は議題が広いため難しかったですが、考え方はどんどん変わっていくので、若い人の意見を共に取り入れていって欲しいと思います。
松井委員長	意見を求めてもらう際、資料が多かったのもう少し絞ってもらった方が良かったと感じました。そして、これまで繋がれなかった方ともこうして繋がりを持つ機会となったことは、良かったです。
池田委員	色々な意見聞けて良かったです。ありがとうございました。
川鱈委員	資料の事前配付があったこと、そしてワークショップ形式が良かったです。メンバーについては団体等からの当職の方が多く、できれば半分は公募にする等すると、もっと面白い話し合いが出来たのではと思います。今後は、

今西委員	成年後見制度の普及に力を入れたいと思います。 日頃はこのような大きなテーマを意識することはあまりありませんでしたが、参加したことによって日頃のボランティア活動と結びついていった事が良かったと思います。若い意見を取り入れていくことは、大切です。そして高齢化が進んでいるので、それに対して何できるか考えていきたいと思います。
川中先生	市民参画という言葉をよく聞きますが、行政だけではなく市民が「もっとこうしてほしい」という声を上げるということが定着化してきました。行政と住民の隔たりをゼロにすることは難しいですが、こうした会議や話し合いの場を設け、議論を深めることが大切です。「日本型福祉社会」が提唱された頃から時代は変わり、次の計画策定期である5年後は、それを前提とした運営は難しいと思います。次の計画に向けてどう動くのかを考え、日々の中でバージョンアップに取り組むことが大切です。このようなメンバーがいることが町にとって大切なので、ぜひ力を合わせていってほしいと思います。
事務局	◆本日頂いた意見を反映し、計画書を一部修正しますが、修正した内容の確認は委員長への一任でよろしいでしょうか。
委員全員	(一同同意)
事務局	◆最後のワークショップで頂戴したご意見についても、今後の運営に活かしていきます。それでは当策定委員会は、今回で終了です。本日まで皆さま、ありがとうございました。